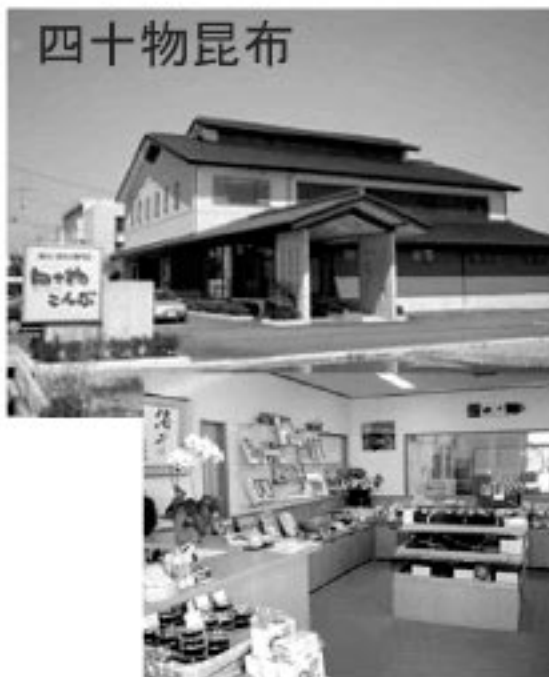


職場体験先 2

四十物昆布



育成牧場



にいかわ
若者サポート ステーション



顔の見える連携



富山市役所

今回の研修中に二度富山市役所に、黒部市役所にも二度訪問をして、就労相談に立ち合わせてもらえた。射水市役所の職員さんとも塾内で、本人を交えてのケース会議もあった。すべてのケースワーカーさんと顔見知りで、たくさんの利用者さんについてそれぞれのワーカーさんと情報交換をされていた。



地域企業との結びつき

企業の担当の方との結びつきが強く協力企業が多いので、利用者の希望や適性に合った職場で体験ができる。普段からの密なやり取りがあるので体験先企業も困難を抱える若者に対して理解が深く、協力的。訓練が終わり、体験先での就労が決まることも多い。



体を動かすことの大切さ



地域の障害者社会復帰センターあゆみの郷、相談支援事業所「サポート新川」のチームと、ソフトバレーボールの交流試合に参加させてもらった。

不登校を経験している利用者も多く、実際に勝ち負けを競うスポーツは今までやってこなかったというメンバーがほとんど。

体温を上げる、体力をつける、以外にもうれしい、悔しいなどの感情を感じることで、何か変わることもあるかもしれないと思った。

今回の研修では、他にも不登校・ひきこもりの状況把握の大切さや、長引く要因を探ることなど理論、アウトリーチをする場合の注意する点なども学ぶことができました。

実際に自立を目指す方のお宅に訪問をして相談、また自立塾を出られた方のご自宅にも、訪問同行させてもらうこともできました。

なかでも、中学1年生から不登校。強いチック症状や家庭内暴力などに悩まされ、地方の適応教室や専修学校でもうまくやれず、二回の精神病院入院(半ば強制的に)を経験のあと、ネットゲーム依存からの脱却をはたし、社会復帰をして7年経つ、元引きこもりの自立塾OBの方に直接お話をきけたことは、とても印象的でした。

学びの多い研修になりました。ありがとうございました。